



11月22日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ
東地申第12号

【上野運輸区】団体交渉を行う!(その1)

【共通】

1. 準備時間における作業環境の変化に伴い、作業実態に沿った時間を設定すること。

回答:安全・安定輸送を確保しつつ、働きやすさの向上を図りながら見直した。なお、必要な労働時間は確保している。

組 合

会 社

- ◆タブレットによる掲示の閲覧、点呼方法などに変更が生じている。
- ◆徐行に関してD-TACではマーカを付ける作業がある。これは紙ベースよりも時間がかかる。
- ✓ゆとりを持って作業するからこそ、安全で正確な作業が実現できる!

- 現状を見たかぎり、時間は収まっていると認識。足りないのであれば確認していく必要がある。
- 注意喚起の手段の話であり、紙ベースでもD-TACでも変わりはない。

2. 以下の行路の夕食を目的とした乗務の中断を1時間以上確保すること。

- ①平日 81 行路、籠原駅場面 ②平日 209 行路、宇都宮駅場面
- ③休日 203 行路、宇都宮駅場面 ④休日 204 行路、小金井駅場面

回答:乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組 合

会 社

- ◆実質30分程度しかない箇所もあり、あまりにも短い。
- ◆首都圏本部になったので、列車の持ち替えはやりやすくなったのでは?

- むやみに短くしているわけではない。
- 現時点では、各支社と連携が必要な状況。他区所の行路を見ながら可能な範囲で調整する。

【運転士】

1. 平日・休日 53 行路 430M、平日・休日 58 行路 1259M の土浦駅場面の停車時間を見合った時間に拡大すること。

回答:引き続き、状況を把握していくとともに、関係支社に要請していく。

組 合

会 社

- ◆現在は特急通過後に併合作業を行うが1~2分遅れる。特急通過前に併合するか、発車時刻を下げるべき。

- ダイヤは水戸支社が作成している。遅れの実績など必要な情報は水戸支社に伝える。

2. 明け場面の起床後に出区担当となる列車について労働時間を作業実態に見合ったものにすること。

回答:安全・安定輸送を確保しつつ、働きやすさの向上を図りながら見直した。なお、必要な労働時間は確保している。

組 合

会 社

- ◆何も異常がない場合でも点検終了と同時に発車時刻になる。全く余裕がない。
- ◆点検箇所が増えているから、時間を増やすべき。

- 出区点検の時間は両数に応じて定めている。時間は収まっていると認識。
- 現場の声は受け止める。実態を見ていく。

3. 3 行路の拘束時間を見直すこと。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

会 社

- ◆この行路は交番順序のどの部分に配置する想定で作成したのか?
- ◆あまりにも拘束時間が長い。改善を求める。

- 交番は現場で作成。首都圏本部は関与せず。いたずらに拘束を延ばしている訳ではない。必要な時間を確保しつつ、可能な限り検討する。 その2へ



11月22日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ
東地申第12号

【上野運輸区】団体交渉を行う!(その2)

4. 「運転士による出区電車のドア開扉ならびに案内設定の取扱い」を車掌が行うこと。

回答:これまでの役割分担にとられない柔軟な働き方の実現により、安全・サービスレベルの向上を図っていく考えである。なお、運転士による始発列車のドア扱い等は、引き続き実施していく考えである。

組合	会社
◆ 折り返しが8分の場合には 相当急いで作業している 。現実を受け止めて欲しい。	▶ トライアルを行って 問題ないという認識 。時分が足りないと言われた部分は今後見ていく。
◆ 以前のように車掌が早めに乗り込んで車内放送をしたほうがサービス面で良いのではないか。	▶ 停車中ならば 運転士だって放送できる 。サービス向上の意識があるなら運転士がやれば良い。

5. 特急列車における松戸駅上り第一閉そく信号機の現示アップが遅いため改善すること。

回答:引き続き、状況を把握していくとともに、関係箇所と調整していく。

組合	会社
◆ 改修する予定はあるのか?	▶ 制御点位置決め、予算など電気ユニットと調整中。

6. 平日・休日 862M 乗継の際、停車時間を1分に拡大すること。

回答:引き続き、状況を把握していくとともに、関係支社に要請していく。

組合	会社
◆ 停車時間30秒での乗継ぎは不可能である。	▶ 高崎支社と前向きに改善に向けて動いている。

【車掌】

1. 平日・休日 1002 行路、平休 351 行路、平休 205 行路、休休 205 行路の睡眠時間を拡大すること。

回答:乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組合	会社
◆ 実質的な睡眠時間が5時間以下 。健康面、安全面ともに問題である。拡大を求める。	▶ 意見は承る。他区所の行路を見ながら可能な範囲で調整していく。

2. 休日 104 行路 1159M の土浦駅分割後の行先・案内設定のために1分付加時分を付与すること。

回答:必要な折り返し時間は確保しており、現状で対応可能と考えている。

組合	会社
◆ 分割後に案内設定を行うように指導されている。待機している時間があるのに、なぜ時間を付与しないのか。	▶ 「始発起動」ボタン押下以外の作業は分割作業中でも行える。トータルの時間は足りている。現場にうまく情報が伝わっていなかったため、再周知した。

3. 常磐線特急ひたち、ときわ号は二人乗務とすること。

回答:現時点において、1人乗務を基本とした乗務体制を変更する考えはない。

組合	会社
◆ 駅の窓口廃止により、車内での発売件数が増加している。改札を終えるまでに1時間近くかかる場合もある。列車防護係員が乗務員室を長時間離れるのは問題だ! ✓ 踏切事故なども増加している。異常時に的確に対応できる体制を予め整えておくべきである!	▶ 業務量は日報と現地調査で判断している。特別改札をつけることの検討は可能だが、今は一人で対応可能だ。現状のやり方で、より良い対応方を考えて欲しい。

次期ダイヤ改正に向けて、働きがいと輸送品質を向上させるために、現場から声を上げよう!